

令和元事業年度

# 決算報告書

国立大学法人佐賀大学

令和元年度決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,611	11,190	△421	(注1)
うち補正予算による追加	—	2	2	
施設整備費補助金	1,316	1,305	△11	(注2)
うち補正予算による追加	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	453	453	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設 費交付金	34	34	—	
自己収入	24,177	25,863	1,686	
授業料、入学料及び検定料収入	4,109	3,948	△161	
附属病院収入	19,797	21,476	1,679	(注4)
財産処分収入	19	—	△19	(注5)
雑収入	252	439	187	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金 収入等	1,988	1,711	△277	(注7)
引当金取崩	187	159	△28	(注8)
長期借入金収入	350	350	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	1,596	1,235	△361	
出資金	—	—	—	
計	41,259	42,300	1,041	
支出				
業務費	37,053	35,180	△1,873	(注9)
教育研究経費	13,712	12,915	△797	
診療経費	23,341	22,265	△1,076	
施設整備費	1,700	1,689	△11	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	453	453	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等	1,988	1,660	△328	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	509	509	0	
大学改革支援・学位授与機構施設 費納付金	9	—	△9	(注13)
出資金	—	—	—	
計	41,259	39,491	△1,768	
収入－支出	—	2,809	2,809	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたが、業務達成基準を適用した事業等の繰越により、予算額に比して決算額が421百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった計画変更等により、予算額に比して決算額が11百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が453百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、診療単価及び手術症例数の増加等により、予算額に比して決算額が1,679百万円多額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、売却予定の土地が売却できなかったため、予算額に比して決算額が19百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、保育料収入の増収により、予算額に比して決算額が187百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として産学連携等研究収入の獲得が伸び悩んだことから、予算額に比して決算額が277百万円少額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算額に比して決算額が28百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、業務実施にあたり経費節減に努めたこと等の理由により、予算額に比して決算額が1,873百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が11百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が453百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が328百万円少額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は697百万円となっています。
- (注13) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。